

第2次静岡市総合計画(基本計画案)に係る意見交換会 実施結果

1 出席者

(人)

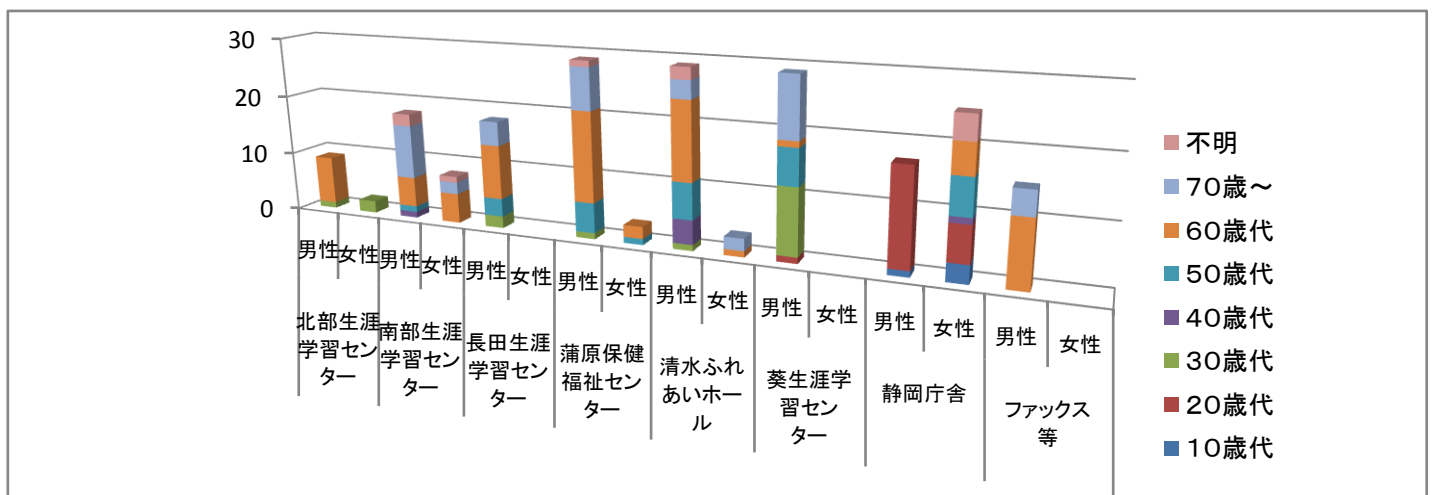
開催日	開催時間	会場	出席者数
7月5日(日)	10:00~12:00	北部生涯学習センター	19
7月5日(日)	14:00~16:00	南部生涯学習センター	36
7月10日(金)	19:00~21:00	長田生涯学習センター	38
7月11日(土)	10:00~12:00	蒲原保健福祉センター	79
7月11日(土)	14:00~16:00	清水ふれあいホール	51
7月16日(木)	19:00~21:00	葵生涯学習センター	34
10月2日(金)	19:00~21:00	静岡庁舎	52
計			309

若者・女性

2 提案者 (延べ人数)

(人)

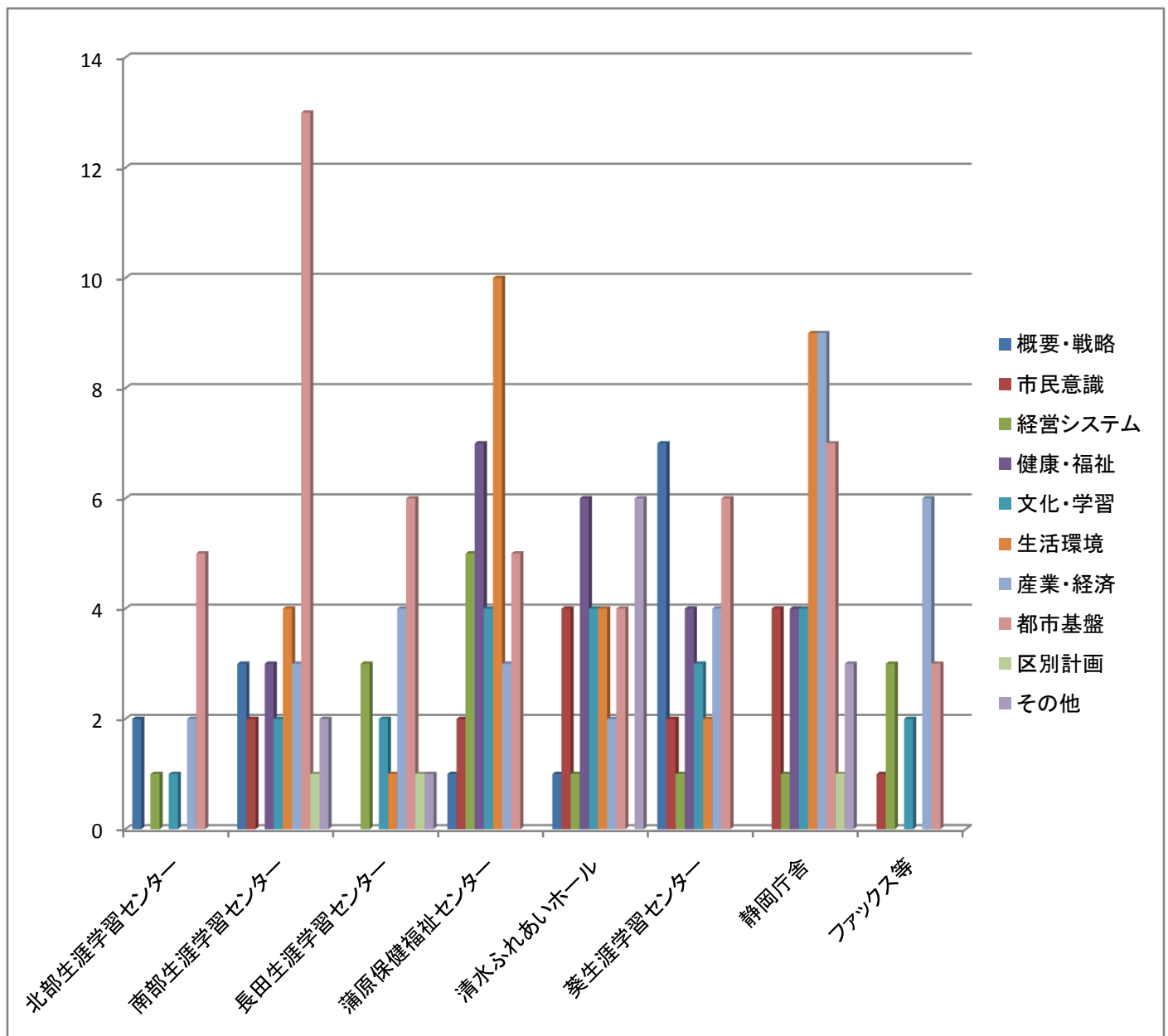
会場	性別	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳~	不明	計
北部生涯学習センター	男性			1			8			9
	女性			2						2
南部生涯学習センター	男性				1	1	5	9	2	18
	女性						5	2	1	8
長田生涯学習センター	男性			2		3	9	4		18
	女性									0
蒲原保健福祉センター	男性			1		5	15	7	1	29
	女性					1	2			3
清水ふれあいホール	男性			1	4	6	13	3	2	29
	女性						1	2		3
葵生涯学習センター	男性		1	11		6	1	10		29
	女性									0
静岡庁舎	男性	1	16							17
	女性	3	6		1	6	5		4	25
ファックス等	男性						11	4		15
	女性									0
合計	男性	1	17	16	5	21	62	37	5	164
	女性	3	6	2	1	7	13	4	5	41



3 提案分野（延べ件数）

（件数）

会場	概要・戦略	市民意識	経営システム	健康・福祉	文化・学習	生活環境	産業・経済	都市基盤	区別計画	その他	計
北部生涯学習センター	2		1		1		2	5			11
南部生涯学習センター	3	2		3	2	4	3	13	1	2	33
長田生涯学習センター			3		2	1	4	6	1	1	18
蒲原保健福祉センター	1	2	5	7	4	10	3	5			37
清水ふれあいホール	1	4	1	6	4	4	2	4		6	32
葵生涯学習センター	7	2	1	4	3	2	4	6			29
静岡庁舎		4	1	4	4	9	9	7	1	3	42
ファックス等		1	3		2		6	3			15
合計	14	15	15	24	22	30	33	49	3	12	217



4 提案要旨

【北部生涯学習センター】

中山間地域への交通問題に対する意見や新東名に関する質問など、地域特性に関する意見があった。また、人口減少社会や超高齢社会に対応した施策の必要性など時代の潮流に対応した意見や、環状交通システムの提案など、静岡市全体を視野に入れた意見もあった。

- (1) 子どもを守り育てる環境を整備してほしい。
- (2) 住みやすい中山間地域にするため、アクセス道路、通学しやすい環境の整備をしてほしい。
- (3) 市全体を捉えた新交通システムを構築してほしい。
- (4) 観光トイレの整備など来訪者や市民が満足するまちづくりをしてほしい。
- (5) 高齢化社会に対応した将来を見据えた行政運営をしてほしい。
- (6) 新東名静岡インターの都市計画(構想)はどのようになっているのか。
- (7) 感動する静岡人をうみ出す社会をつくってほしい。
- (8) 「都市の顔づくり」静岡駅北口は、楽しい歩行者空間づくりを進めてほしい。
- (9) 市民が魅力を感じ、自信をもって紹介できる歴史・文化などの環境・施設を整えてほしい。
- (10) 歩行者や自転車が安心して行き交える道路網を整備してほしい。
- (11) 人口減少社会に対応した計画をつくってほしい。

【南部生涯学習センター】

大学や人々が集まる地域拠点を結ぶ公共交通ネットワークや道路網の整備に対する意見や、大学の活用など地域特性に関する意見があった。そのほか、静岡の特色を活かしたまちづくりに対する意見、生活者の視点や市民の役割も具体的にした総合計画の策定を望む意見などがあった。

- (1) 駿河区の公共バスについて計画に盛り込んでほしい。
- (2) 駿河区の道路整備を進めてほしい。施設へのアクセスと一体的に進める。
- (3) 中心市街地活性化について、もう少し具体的に説明すべきである。
- (4) 静岡下島線、丸子池田線、東町高松線はどうなっているのか。
- (5) 都市景観を大切にしておし、広告の制限をしてほしい。
- (6) 静岡の特色を活かしたまちづくりを進めてほしい。
- (7) 総合計画に生活者の視点で地域のことをもっと盛り込んでほしい。
- (8) 有東地区に公園を整備してほしい。
- (9) 小鹿老人福祉センターの入浴料の有料化。
- (10) 環境低負荷型都市について、国の方針と統一してほしい。
- (11) 消費生活の安定と向上に関する市の対応を明確にしてほしい。
- (12) 区民懇話会の意見を総合計画に盛り込んでほしい。
- (13) 駿河区の資源として、学生から文化の発信をしてほしい。
- (14) 大学生からの文化発信をしてほしい。
- (15) 人間関係豊かな長寿のまちの確立のため、隣近所との関係について市もアドバイスしてほしい。
- (16) 公園周辺に駐車場が必要。公園は、子どももお年寄りも遊べる場所であってほしい。
- (17) もう少し詳しい資料がほしかった。
- (18) 今以上に郊外のショッピングセンターは必要ない。

- (19) やめるものや制限するものも計画に盛り込むべき。また市民の役割も具体的に示してほしい。
- (20) 静岡空港を活かした観光策を充実してほしい。
- (21) 市民の声を吸い上げるのであれば、回答者の発言が少ないほうがよかった。

【長田生涯学習センター】

用宗海岸の活用策や安倍川駅前広場の整備など、地域特性に関する意見のほか、住民組織の活用、个性的な教育の必要性、交通体系の充実、茶農家への支援や街路樹、屋上緑化への「お茶の木」の利用など、全市を視野に入れた意見があった。そのほか、区の特徴が明確な区別計画の策定や、計画を確実に進捗管理できるシステムの必要性など、計画の内容や進め方に言及する意見もあった。

- (1) 用宗海岸に「海の家」などの施設を整備してほしい。
- (2) 個性を伸ばす教育をしてほしい。
- (3) 茶農家が生き残っていけるよう支援してほしい。
- (4) 長田地区に消防署の設置をしてほしい。また、南署の位置を西側に移設してほしい。
- (5) 地下鉄を整備してほしい。
- (6) 想定される主要事業は、実行性があるものにすべきである。
- (7) 安倍川駅前広場に、ベンチや木などがある公園を整備してほしい。
- (8) 連合自治会にもっと権限を与えてほしい。
- (9) 自治会連合会をもっと活用した方が良いと思うがどうか。
- (10) 歩行者や自転車が安心して行き交える道路網を整備してほしい。
- (11) 交通の便のよいところに、設備の整った音楽ホールを建設してほしい。
- (12) 木材チップをゴミと一緒に収集するシステムを作してほしい。
- (13) 丸子川から用宗港へ流すためのバイパスの計画はどのようになったのか教えてほしい。
- (14) 長田地区を歴史・文化の伝承、観光産業の発信の地域としたらどうか。
- (15) 区ごとが競いあい政策を提案してほしい。
- (16) 街路樹や屋上緑化に「お茶の木」を活用したらどうか。
- (17) 計画の進捗管理を確実に行うためのシステムをつくりを完全達成を目指してほしい。
- (18) 市中心部の緑地を市民のために公的な緑地にしたらどうか。

【蒲原保健福祉センター】

蒲原畑総内の土地利用、御殿山の土砂崩れなどの防災対策、豪華客船の清水港への寄港策など、地域特性のある意見のほか、二級河川の維持管理、対費用効果はないが地域生活としての道路整備、急病センターや蒲原病院の産科医不足など、生活・環境関連や、健康福祉関連の意見が多かった。

- (1) 安心して子どもを育てるための保育園と幼稚園の役割を明確化すべきである。
- (2) 赤字の解消について示されていない。
- (3) 実施計画が大事であるが、市民の意見を反映させる場があるのか。
- (4) 行財政改革について、数値目標は示す必要があるがどうか。
- (5) 蒲原の二級河川の維持管理を地元要望がなくても計画的に進めてほしい。
- (6) 蛭沢通線の整備について費用対効果だけでなく将来的な面も見据えて進めてほしい。
- (7) 通勤費の削減のため、市職員は居住区の区役所等に通えばよい。データを示してほしい。

- (8) 谷津沢川の清流保全について、河川の付加価値を高める努力を住民と話し合いながら進めてほしい。
- (9) 豪華客船を清水港に寄港させる方策をつくってほしい。
- (10) 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化を進めるべき。
- (11) 蒲原畑総内の農地について市民農園として利用していく必要がある。
- (12) 富士川河川環境について、特に海浜環境対策についての市の考えを聞きたい。
- (13) 庵原高校跡地は、スポーツ合宿所として活用してほしい。
- (14) 旧役場跡地は災害時避難地、公園として活用を図ってほしい。
- (15) さった峠で落石があるため、安心して通行できるよう対応してほしい。
- (16) 新蒲原駅の橋上駅舎化、駅前交差点の3車線化をお願いしたい。
- (17) 由比蒲原地区の下水道の整備をお願いしたい。
- (18) 御殿山の土砂崩れ対策をしてほしい。
- (19) 急病センターの内容、病院としての位置づけはどのようなものか。
- (20) 医師不足に対する対応が望まれる。医師の派遣、産科、小児科、循環器科、開業医の招致など。
- (21) 診療閉鎖など蒲原病院で診療を受けられない現状がある。平等に医療を受けられるよう望む。
- (22) 災害時の具体的な対応策を多くの人に分かりやすい方法で作成してほしい。
- (23) 蒲原病院までの交通の便が悪い。旧由比町のコミュニティバスの延長を望む。
- (24) 若者たちの市民活動による地域づくりを実現してほしい。
- (25) 支所やサービスコーナーで、多様な住民相談に対応するよう、人員配置を充実させてほしい。
- (26) 連合自治会の近代化が必要だと思う。
- (27) 危機管理能力・体制整備について、最大限の投資をすべきである。

【清水ふれあいホール】

清水駅東口の文化センターの建設、興津駅周辺の開発と観光案内所等の整備、清水港の輸出入の拡大策、巴川の清流化など、地域特性のある意見のほか、特産品のプラモデルを活かした地域活性化、コミュニティづくりや市民と行政の具体的な協働策の提言、子育て支援策の必要性や医療体制の充実を求める意見などがあつた。

- (1) 東海地震に備えて防災公園を整備してほしい。
- (2) 地域防災力の強化に向けた計画をつくってほしい。
- (3) ローカル都市の魅力を磨く施策をつくってほしい。
- (4) 人口減少を食い止め、人口増加に向けた政策をつくってほしい。
- (5) 目標達成型の体系づくりをしてほしい。
- (6) 「活発に交流し価値をつくり合う自立都市」がわかりにくい、「価値」を具体的に示してほしい。
- (7) ペット政策を盛り込んでほしい。
- (8) 市民の音楽文化活動環境の整備をしてほしい。
- (9) 静岡プラモデルミュージアムをつくってほしい。
- (10) 乳幼児をあずけられる施設を整備してほしい。
- (11) 身の丈にあった行政を展開してほしい。
- (12) 総花的な計画であり、現状分析とあるべき姿を見極めて施策を決めてほしい。
- (13) 興津駅の周辺整備と興津駅橋上化の整備をしてほしい。
- (14) 清水港のポートセールスを推進してほしい。
- (15) コミュニティーづくりの施策を検討してほしい。

- (16) 行政と市民が一体化して取組む市民が誇れる美しまちづくりをしてほしい。
- (17) 急病センターの設置は、市内2極化にしてほしい。
- (18) 保育園と幼稚園が連携して幼児教育を推進してほしい。
- (19) 清水厚生病院の設備と医師の充実をしてほしい。
- (20) 安心した社会をつくるため医療を充実してほしい。
- (21) 病院で安心して子どもが産め、子育て環境が充実した施策をやってほしい。
- (22) 安心できる長寿生活を送るための基盤の整備をしてほしい。
- (23) 日本平動物園が旭山動物園より優れていることを知ってほしい。
- (24) 巴川を清流化してほしい。
- (25) 清水地区の文化学習を生かした施策を展開してほしい。
- (26) 地震などによる避難場所を充実してほしい。
- (27) 東静岡地区の副都心は必要がない。次世代に負担させるべきではない。
- (28) 計画が総花的である。具体的施策を効果的に生み出す形にもっていくべき。また、市民や民間がやるべき事の役割の区分が必要である。
- (29) 中心市街地を示す交通標識の改善をしてほしい。
- (30) 誰もが自由で便利な交通アクセスをつくってほしい。
- (31) 市の施策を策定するときは、タウンミーティングを実施してほしい。
- (32) 富士山静岡空港は県民に負担がかからない経営をしてほしい。

【葵生涯学習センター】

産業活性化のための人材育成や中学校におけるクラブ活動の必要性など、将来の静岡を担う人材育成に対する意見があった。また、生活者の視点を大切にした地域拠点のネットワーク化や自治会の活性化策、市民参加の促進策の必要性など、市民力を高める施策に対する意見や、戦略プロジェクトに対する意見、計画における財政負担の考え方などの意見があった。

なお、この会場では、地域に特化した意見などが少なかったことが特徴である。

- (1) 1次総の総括をしてから2次総を策定すべきである。また、財政負担を将来に残さないようにしてほしい。
- (2) 戦略プロジェクトの推進に当たり縦割り行政にならないようにしてほしい。
- (3) LRTの導入も含め、拠点間のネットワーク化を高齢者が移動しやすいようにしてもらいたい。
- (4) 人口減少社会を食い止める必要があるのではないか。
- (5) LRTを実現するのかしないのかはっきりしてほしい。
- (6) 市役所の土日開庁や金曜日の時間延長を検討してほしい。
- (7) 日本平のIC設置や空港へのアクセス整備を検討してほしい。
- (8) 新清水文化センターのホールごとの収容人数などについて再考してほしい。
- (9) 小中学生も選挙事務に参加したり、若者の自立を促す長期的団体活動を行ったらどうか。
- (10) 大家族手当の支給や減税ができないか。
- (11) 3人乗り自転車購入について、低所得者に対する購入費助成はできないか。
- (12) 地域の連帯感が重要であり、自治会の活性化が必要である。
- (13) 役所の職員の減少が著しく、市民サービスの低下につながっている。
- (14) タウンミーティングにもっと市民が参加するようにすべきである。
- (15) 県立大学に医学部を設置できないか。
- (16) 観光交流都市を目指すため、静岡を知り、語る人材の育成が必要ではないか。

- (17) 13の戦略プロジェクトの中で2と12は類似しているのではないか。
- (18) フィルムコミッションをもっと積極的に行うべきである。
- (19) 駿府城天守閣の再建に向けた取組を望む。
- (20) 中学校のクラブ活動を減らさないようにしてほしい。
- (21) お茶、マグロ、ホビーについて、世界のメッカとなるような戦略を講じてほしい。
- (22) 出産費用は、申請に基づく還付をするのではなく、病院が直接行政に請求してほしい。
- (23) 大家族化は、第一次産業のメリットが増え、産業の発展が期待できる。
- (24) 市が情報を発信するだけでなく、市民も情報を取りに行くようになるといい。
- (25) 財政の健全化に取り組むべきである。
- (26) 原案の策定プロセス、経緯などを示し、指定都市との比較、分析が必要である。
- (27) タウンミーティングにもっと市民が参加するよう策を講じるべきでないか。
- (28) 1次総の評価、現在の事業の見直しの必要性はどうなっているのか。
- (29) 新蒲原駅西側ガード下道路は、どのようになるのか、計画はあるのか。

【静岡庁舎】

これまでのタウンミーティングで比較出席の少なかった若い世代と女性の視点から、環境、経済、教育、福祉、交通など幅広い課題に対し、行政の積極的な関与を求める意見が多く出された。より暮らしやすいまちを実現するための消費生活者の視点や市民としての責任、自覚の必要性に基づく事業提案が目立った。また、行政への関心が低いとみられる学生をまちづくりに積極活用した方がよいといった意見が複数見受けられた。

- (1) 集落支援員派遣の具体的な意義は何か。また、学生の活用を図り、交流の機会を創出することはできないのか。
- (2) 森林整備を進めることで、中山間地の活性化、二酸化炭素の削減、治水機能の向上などのメリットがあるため、是非力を入れて推進してほしい。また、「木材の地産地消」を促進し、地域活性化に繋げてほしい。
- (3) 男女を問わず、それぞれのワークライフバランスを考慮した就労環境の整備促進をお願いしたい。特に、病気になっても預けられる施設等の整備が最重要課題と考える。
- (4) 静岡市の一員としての自覚が大切であり、また、他地域の人に自慢できるよう「郷土意識」を高めていくことが、地域活性化につながると考える。
- (5) 市役所内で横の連携を図ることにより、人件費の削減が可能になると考える。
- (6) 放課後児童対策について、対象とする年齢を引き下げて小学校6年生でも利用できるようにすべきではないのか。
- (7) 身近な公民館や小学校の空き教室などを使って、高齢者と子育てする若いお父さんお母さんが語れる機会を設けてはどうか。
- (8) 個人病院は多くできているが、総合病院の必要性は高いと考える。計画を策定する上で、現状把握をしっかりとしてほしい。
- (9) 出産後、職場に復帰する女性への支援策を充実してほしい。例えば、職場内保育園の設置や設置協力した事業所の支援など。
- (10) 就学前教育と義務教育との連携により、小一プロブレム等の問題を解決してほしい。
- (11) サッカーを中心としたスポーツができる芝のグラウンドの整備をお願いしたい。また、エスパルスの選手等と一緒にボランティア活動ができれば、参加者も増加すると思う。
- (12) 静岡市は多彩な歴史・文化があるが、その魅力の発信には大御所時代、弥生時代に限定されているという印象を受ける。
- (13) 義務教育時代からのジェンダー・セクシュアリティ教育が必要であると思うので、リプロ研究会(看護師・助産婦

- を中心とする団体)による出張授業を公立学校で実施してほしい。
- (14) 市街地の花や緑は街を豊かにし、人々の心も豊かにするため、街中に緑を増やしてほしい。
 - (15) 三保海岸や有度山の粗大ごみが非常に多く、市民の力だけでは回収しきれないものもあるため、市で回収できたら良いと思う。
 - (16) 緑地の整備も重要だが、太陽光発電の設置促進を図るなど、二酸化炭素を減らすことができる対策が必要ではないのか。
 - (17) 防災について、施設や体制を充実させることも大切であるが、市民一人ひとりの意識や、地域コミュニティが緊密になるシステムや事業が必要である。
 - (18) 最終処分場で処理するゴミを減らすべきであると思う。このため、もう少しゴミの分別をした方が良いと思う。
 - (19) 食糧自給率を引き上げることが農業振興に大切であると思う。
 - (20) レジ袋の有料化が始まったが、時間が経つにつれて「5円だからいい」と考える人が多くなったと思う。もっと環境に対して厳しくしていくべきではないのか。
 - (21) 環境問題には、個人が自主的に実施する面が多いと思うので、その実施に対して何かインセンティブを与えるような施策が必要であると思う。
 - (22) 環境低負荷型都市の建設には、市民活動も大切だが市内企業の二酸化炭素や産廃の削減に重点を置くべきであると思う。
 - (23) 外からの観光客誘致ばかり目をむけるのではなく、静岡市民に向けた観光産業の活性化を考えていただきたい。
 - (24) 静岡市には数多くの観光名所があるにも関わらず、他の地域の人々はそのことを知らない。全国に静岡の良さを知らせるとともに、「のぞみ」を静岡市に停車するようにしてほしい。
 - (25) 静岡に住んでいてもその良さを知らない人が多い。静岡市民にもっと静岡の魅力を知らせてほしいし、外国人に認知度の高い富士山を活用して、国際的な交流につなげてほしい。
 - (26) 生産者と消費者の交流の機会の拡大の1つの方法として、産直販売所を多く設置したらよいと思う。
 - (27) 大切なきれいな海や海岸を守り育てることが重要であるため、経済・産業分野の「2環境と調和した農林水産業の高付加価値化」の文中に、そのような文言を入れてほしい。また、消費生活センターの拡充と充実の方向性を明記してほしい。
 - (28) 大学生や高校生などと企業とのマッチングが必要であるため、インターンシップや相談業務などを学生向けに取り組んでほしい。
 - (29) 中心市街地だけでなく、周辺の商店街の活性化が必要であり、県外出身の学生が多いので、他地域の取組についてヒアリングなどして意見収集したらどうか。
 - (30) 市が休耕地の活用を図るため、家庭菜園用に貸し出す仕組みをつくってほしい。
 - (31) 全国に静岡市の名前を知ってもらうことが大切であるため、既にイメージができている「お茶」などに合う和菓子など、新たな魅力づくりが必要であると思う。
 - (32) 綿密な交通量を調査し、車線の改良や信号の待ち時間の改善を行ってほしい。
 - (33) 交通量の多い所に右折レーンが必要。LRTに興味はあるが、BRT(バス・ラピッド・トランジット)の方が現実的と考える。JR駅の橋上駅化は結節の点では簡易な駅としたほうがよい。また、駿河区役所付近は拠点となりつつあるが、パークアンドライドを考え大型駐車場を設置したらどうか。
 - (34) 静岡市は道路の整備が非常に遅れていると感じる。自転車用の道路を徹底的に整備してほしい。
 - (35) 自家用車の利便性が主として改善され、車の普及を促すことにならないか。行政が積極的にバスなどの公共交通を軸とした生活ができるよう主導してほしい。
 - (36) 区の組み替えはあるか。またLRT導入の検討をしているか。
 - (37) 自転車道を整備する目的に「安全」という点を入れた方がよい。自転車は静岡ではかなり重要な交通手段であり、特に通学路となるような場所の自転車道ネットワークを整備してほしい。

- (38) 見通しの悪い路地にミラーを設置してほしい。特に静岡大学周辺。
- (39) 各区の価値の重点化を図り、まちが生きているような雰囲気作りに取り組んでほしい。
また、静岡市の新たなイメージを作り、PRしていくことも重要である。
- (40) 若者のまちづくり参加について、雇ってでも取り組ませたらどうか。
- (41) 学生の意識が低いため、総合計画についてもっと伝えてほしい。
- (42) 市内の企業等へも呼びかけてタウンミーティングを行ったらどうか。

【FAX等】

- (1) 長田西小西側の信号機のところに、「丸子宿」などの案内標識を設置してほしい。
- (2) 旧丸子宿の何処にどんな役割をした施設があったのか示す「丸子宿場」の案内板又は標柱を設置してほしい。
- (3) 生涯学習の場として、「(仮)丸子宿歴史資料館」を建設してほしい。
- (4) 「丸子城跡」について、復元に向けた調査の実施と、「丸子城」を復元してほしい。
- (5) 個々の職員の業務内容を書き出してみるなど、職員の業務の見直しを実施したらどうか。
- (6) 交通渋滞の緩和と企業誘致のメリットのため、村松辺りから三保NKK横に橋を架けたらどうか。
- (7) 財源不足を補うため、市職員の給与の見直しと「天下り」などの調査を行い、財源の有効利用を図るべきである。
- (8) 三保半島の工業地帯への企業誘致と、清水地区への企業誘致の困難性に対する調査を実施してほしい。
- (9) 安心して住める住みよいまちづくりには、コミュニティの強化が重要であり、住民の意識改革が必要である。
- (10) 観光資源を点ではなく面でとらえ、ルート化することが必要である。また、日本平の開発や企業誘致も実施すべき。
- (11) セキュリティ問題を検討した上で、家で各種証明等が取れるよう「電子都市静岡」を目指したらどうか。
- (12) 来年2月28日に開催する「丸子宿場祭(冬の陣)」に、「仮設トイレ」を設置してほしい。
- (13) 最近、街中に駐車場が目につくが、人々が行き交いやすい風格のあるまちづくりをお願いしたい。
- (14) 新蒲原駅から国道一号線へ繋がるガードを、歩行者も安全に通過できるよう改修をお願いしたい。
- (15) 観光資源について、観光に特化することなく、美術や歴史、伝承、伝説を有機的に結合して、文化的な観光資源としたらどうか。